

作成日 西暦 2025 年 10 月 3 日

## 「がん及び労働災害を含む周辺疾患の社会格差の解明」へご参加のお願い

このたび当研究室では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんや地域の健康な皆さま等の診療情報などを用いた下記の研究を実施いたしますので、ご参加をお願いいたします。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和4年6月6日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名      がん及び労働災害を含む周辺疾患の社会格差の解明
2. 研究期間          2023 年 1 月 1 日   ～   2028 年 12 月 31 日
3. 研究機関          産業医科大学
4. 研究責任者      高年齢労働者産業保健研究センター 教授 財津将嘉

### 5. 研究の目的と意義

本研究室では、日本多施設共同コホート研究、獨協医科大学、大阪国際がんセンター、東北大学、関東労災病院、東京大学、ハーバード公衆衛生大学院、ボストン大学との共同で「がん及び労働災害を含む周辺疾患の社会格差の解明」という研究を行っております。現在、予防と治療を通じたがんや循環器疾患などによる早期死亡の 3 分の 1 の減少と精神健康と幸福の促進が世界的に取り組まれています。また、高齢化社会における労働災害も増加しており、高齢労働者の労働安全の確保も大きな課題となっています。

本研究は、がんおよび周辺疾患（循環器疾患など）のリスクの根源にある社会格差や労働災害において、分子・細胞、日常生活、職場環境レベルの様々な要因を明らかにし、がんや労働災害を含む周辺疾患の予防を目的とし、研究成果を活かして、命の格差の解消に向けた政策への貢献を果たすことを目指しています。

### 6. 研究の方法

研究対象者は、日本多施設共同コホート研究（J-MICC 研究）の参加者約 10 万、大阪国際がんセンターおよび東北大学で登録されている楽天インサイトのパネルメンバー約 3 万人、神奈川県地域がん登録に登録されている患者さん約 20 万人、関東労災病院泌尿器科に登録されている患者さん約 1000 人、獨協医科大学救命救急センターで登録されている患者

さん約 7000 人、産業医科大学病院泌尿器科で登録されている患者さん約 100 人、神奈川県予防医学協会の健診受診者の皆さん年間約 40 万人、消防庁救急搬送データ、政府統計データ、および当センターで実施された教育、予備調査、健康イベントおよび関連企業から提供された約 1000 人の身体機能等データです。本研究では、匿名化された以下の項目や病理検査等の生体試料を分析し、がんおよび労働災害を含めた周辺疾患の社会格差について、生活習慣や免疫応答、職場環境がどのように影響しているのかを明らかにします：年齢、性別、家族歴、既往歴、診察所見、社会経済学的指標（教育、職業、収入など）、喫煙（紙巻きタバコや新型タバコ等）や飲酒、運動・睡眠・ストレスなどの生活習慣情報、採血・生理検査・病理検査等などの臨床検査情報、重症度および悪性度、臨床転機や予後などの臨床情報。身体機能情報（重心動揺、動作解析、体力測定、転倒等リスク評価セルフチェック、心拍数、歩数等）。

## 7. 個人情報の取り扱い

本研究では、個人情報を含まない匿名化されたデータの分析を行います。また、本研究によって得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用いたしません。

本研究は既存の情報および研究利用の同意が得られた情報を利用するため、対象者からのインフォームド・コンセントは必ずしも必要ではありませんが、研究参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない皆さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。

## 8. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

研究責任者 産業医科大学高年齢労働者産業保健研究センター 教授 財津将嘉  
北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 電話：093-691-7260（平日：10 時 00 分～16 時 00 分）

## 9. その他

本研究の実施にあたり、謝礼等はありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。